

◆本号の内容

1. 2006年度春季大会シンポジウムが開催されました
2. 学会設立50周年記念事業への取組みについて
3. 2006年度秋季大会の開催予定について
4. 会員拡大の一層の推進について
5. 新しい事務局体制について

1. 2006年度春季大会シンポジウムが開催されました！

去る2006年3月29日（水）に、東京都内の明治大学駿河台キャンパスのリバティータワーにおいて、2006年度春季大会シンポジウムが開催されました。農問研創立50周年を彩る大会にふさわしく、近年では経験がない100名を超える参加者を迎えて、盛大に行われました。

シンポジウムでは、テーマを「『グローバル資本主義』下の農業問題－農業問題研究の新たな地平を求めて－」と設定し、農問研50年間の歴史のなかで主に議論されてきた3つの課題（地域労働市場論、土地の所有と利用、農業政策論）について、新自由主義的な国際潮流の下、自由貿易や国際分業が激しく進展する状況において、過去の議論を踏まえ、かつ新しい研究課題を想定すべく、報告と熱心な討論がなされました。シンポジウムの概要は、以下のとおりです。

- | | |
|--|---------------------------|
| ◆テーマ：『グローバル資本主義』下の農業問題－農業問題研究の新たな地平を求めて－ | |
| ◆座長：加瀬 良明（明治大学） | |
| ◆報告者 | |
| ●第1報告：「地域労働市場論と戦後日本経済の転換点」 | 山崎 亮一（酪農学園大学） |
| ●第2報告：「転換期における農業生産力（構造論）の構成と課題」 | 津田 渉（秋田県立大学） |
| ●第3報告：「農業構造問題と国家の役割」 | 酒井 富夫（富山大学） |
| ◆コメンテーター | 田畑 保（明治大学）、谷口 信和（東京大学大学院） |

2. 学会創立50周年記念事業の取組みについて

(1) 50周年記念出版事業を推進していきます

春季大会シンポジウムと併せて行われました2006年度学会総会におきましては、これまでの研究蓄積を総括し、また新たな研究方法を構築すべく、50周年記念出版事業の取組みを一層進めていくことが確認されました。農問研の一連の取組みを連動して行うべく、今回のシンポジウムの報告者を中心とした「50周年記念出版編集委員会」のメンバー6名が総会で承認されました。編集委員会のメンバー構成と図書各巻のタイトルは、以下のとおりです（3月30日の第1回編集委員会、及び4月29日の第2回編集委員会で決定されました）。

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| ◆50周年記念出版編集委員会の構成と担当巻（敬称略） | |
| * 矢口 芳生（東京農工大学大学院） | …編集代表 |
| * 加瀬 良明（明治大学） | …第1巻『グローバル資本主義と農業』 |
| * 山崎 亮一（酪農学園大学） | …第2巻『労働市場と農業』 |
| * 津田 渉（秋田県立大学） | …第3巻『土地の所有と利用』 |
| * 酒井 富夫（富山大学） | …第4巻『構造問題と国家の役割』 |
| * 槇平 龍宏（農政調査委員会） | …編集委員会事務局 |

「グローバル資本主義」ともいわれる今日、国家や共同体の実態、日本農業を巡る内外の環境は大きく変貌しています。農問研がその研究課題として伝統的に扱ってきた地域労働市場、土地の所有と利用、農業・農村政策などの「農業問題」の内容や領域も大きく変化してきています。今、このような現状を捉える視点と分析手法の早急な構築が求められていますし、農業問題研究学会の存立意義にも関わる重要な課題です。

今回の「記念出版事業」では以上のような問題意識に基づき、かつ若手研究者の問題意識をぶつけ合う場としての農問研の伝統を踏まえて、従来の研究蓄積の整理のみならず、特に若手研究者による積極的な問題提起を行うことになりました。すでに編集委員会が2回開催され、刊行図書構成と課題に精通した執筆適任者を検討し、執筆依頼を行っています。

(2) 学会賞の設立と推薦受付の開始について

農業問題に関する優れた研究や若手研究者の研究奨励を行い、学会員の研究活動の活性化を目的とした「農業問題研究学会賞」の設立が、今回の学会総会で承認されました。詳しい学会賞規定に関しましては、併せて送付いたします「2006年度学会総会決議」の資料をご覧ください。

ご承認頂いた規定に基づき、幹事会では「学会賞選考委員会」（幹事より6名）を立ち上げます。併せて、事務局では学会賞候補業績の推薦受付を開始いたします。会員の皆様による活発な研究業績のご推薦をお待ちしております。

3. 2006年度秋季大会の開催予定について

農問研ニュース第2号において2006年10月27日に開催予定とご連絡差し上げた2006年度秋季大会は、他学会との調整等の結果、2006年11月23日に東京府中の東京農工大学農学部キャンパスにおいて開催することが常任幹事会で決定されました。例年の個別報告を中心に、農問研創立50周年を記念する記念講演（東京大学大学院 谷口信和教授）を予定しております。会員各位の幅広いご参加をお待ち申し上げます。

なお、個別報告へのエントリーの募集は6月、同締切りは7月中旬頃を予定しております。詳細につきましては追ってご連絡いたします。

【2006年度秋季大会開催要領】

- 内 容：個別報告および50周年記念講演
- 日 時：2006年11月23日（木）、10：00～17：00（予定）
- 場 所：東京農工大学農学部キャンパス2号館1階2-11号教室（東京都府中市幸町3-5-8）

4. 会員拡大の一層の推進をよびかけます！

大会シンポジウムや50周年記念事業とも連動しつつ会員数を増やすことは、学会活動の活性化にとって何よりも大切な取組みです。3月28日に開催された幹事会では、2006年度秋季大会までに350名まで会員数を増やすことを確認し、幹事会が中心となって取組みを進めているところです。この波を会員一人ひとりに広げていく取組みが必要です。

幹事による取組みの中での経験では、院生などの若手研究者とともに、普及員や農業団体職員への呼びかけが功を奏しているとの報告も寄せられております。ぜひ会員一人ひとりが身近にいる農業問題へ関心をお持ちの方にお声がけをお願いいたします。見本誌として、学会誌「農業問題研究」やシンポジウム予稿集も配布しておりますし、入会申込用紙もお送りいたしますので、活用をご希望の方は事務局までご連絡下さい。

5. 新しい常任幹事会体制のお知らせ

新しい常任幹事会の体制をお知らせいたします。今後1年間よろしくごお願い申し上げます。

*矢口 芳生（東京農工大学）	…代表幹事
*大木 茂（麻布大学）	…編集・学会賞担当
*楨平 龍宏（農政調査委員会）	…春大会・学会賞担当
*友田 滋夫（農村開発企画委員会）	…秋大会・拡大担当
*金子（鶴沢）いづみ（農林水産政策研究所）	…事務局担当
*神代 英昭（宇都宮大学）	…事務局担当
*鈴木源太郎（農林水産政策研究所）	…庶務担当

【連絡先】 TEL:03-3910-7223 FAX:03-3910-7267 ((財)農政調査委員会内 担当：楨平)
E-mail: izkaneko@affrc.go.jp (農林水産政策研究所内 担当：金子)